

報道関係各位

2018年2月6日

三菱地所株式会社  
丸の内熱供給株式会社  
ブルーイノベーション株式会社  
株式会社Liberaware

## 街の重要なインフラの点検業務効率化に向けて 自律飛行ドローンによる地下トンネル内の点検実験を実施

三菱地所株式会社（本社：東京都千代田区、執行役社長：吉田淳一、以下三菱地所）、丸の内熱供給株式会社（本社：東京都千代田区、社長：辻正太郎、以下丸の内熱供給）、ブルーイノベーション株式会社（本社：東京都文京区、社長：熊田貴之、以下ブルーイノベーション）、株式会社Liberaware（本社：千葉県千葉市、社長：関弘圭、以下Liberaware）は、街の重要なインフラの点検業務の効率化に向けて、東京都千代田区の複合ビル「丸の内オアゾ」周辺の地下に位置し、エリアのオフィスビルの空調用エネルギーを供給する熱プラント間を結ぶ熱供給用洞道にて、自律飛行ドローンを用いた点検実験を実施しました。今後、「日常点検の効率化」、「ドローンと人の分担点検による点検の質向上」が期待されます。

従来、ドローンは屋外で飛行させることを想定して開発されており、一般的にはGPSを使った位置制御技術が用いられています。今回の実験は、GPS信号が届かない地下空間でドローンが自らの位置を認識し、さらに洞道という狭小な屋内空間にて自律飛行を行うため、技術的な難易度が非常に高い実験となります。

三菱地所は、多様な人・企業が集い、交流することを通じて進化していく街を目指し、丸の内エリアの「オープンイノベーションフィールド」化を進めています。これまで「EGG JAPAN」「Global Business Hub Tokyo」「3×3 Lab Future」「FINOLAB」等多様な人と人との交流を促す各施設の設置、ビジネスクラブ「東京21cクラブ」の運営等、スタートアップ企業の活躍する場を創出してきましたが、これらの取り組みをさらに加速させると共に、先進技術やテクノロジーを用いた実証実験を積極的に行う等、エリアの機能向上を目指して参ります。

### ■実験概要

場 所：丸の内熱供給／洞道（丸の内一丁目センター — 三菱信託ビルサブプラント間）

実 験 日：2018年2月6日（火）

内 容：地下の非GPS環境、通路幅が60cmほどという狭小空間で、周囲の配管に衝突することなくドローンが自動航行し、洞道内を往復し、洞道内の様子を動画撮影。

#### <実験イメージ>



#### <実験場所地図>

